

カイゼン提案書

『“いきいき”という言葉』

現状をデータでチェック

- “いきいき”という言葉を使った、行政や民間の事業、施設、イベントなどが多い
- そもそも、「新鮮」「活力がある」などポジティブなイメージをもつ言葉

よいところ

- ・元々は良い言葉
- ・ポジティブさを感じる
- ・力強いイメージ

イマイチなところ

- ・「自分はそんなに“いきいき”していないのに…」と恥ずかしく感じる
- ・良い言葉なのに、手垢がついてきた
- ・「いきいき」「ふれあい」「さわやか」は行政や政治家のせいでイメージが悪くなった!?
- ・「新鮮でピチピチしている」ってシニアとイメージが違う!

こんな言葉ならどうだろう？

- ・足るを知る
- ・日々の暮らしの解像度をあげる。身近なことに幸せを感じる
- ・「小さな得」や「小さなよかったこと」を見逃さないで生きる
- ・機嫌よく生きる
- ・専門性をもつ

こんなふうにカイゼンしたい！

■**カイゼン1** 良い言葉なのに手垢がついた
→「いきいき」「ふれあい」「さわやか」
目指す姿や目的として行政や企業は使うべきでない。結果としてなるもの

■**カイゼン2** 他人が描く“いきいき”に抵抗感
→65歳～100歳まで、状況はさまざま。
“いきいき”の姿を押し付けるのはよくない!海外旅行!?サーフィン!?
オープンカー!?!くそくらえ!

■**カイゼン3** “いきいき”ってなにもかも全部
手に入れる感じ!
→歳を重ねると出来ることをくふるい>
にかけなければならない、すべては出来ない。出来ること、やれることを選ぶ

■**カイゼン4** 自分だけが“いきいき”でいいの?
→機嫌のよい状態にいること、そのこと
によって周りのひとたちも機嫌よく
いられることが大事

■**カイゼン5** 金が無くても病気でも仕事が
無くても“いきいき”しなきゃダメ?
→どんな状態だっていいじゃない!
本人が心地よく&機嫌よくいられるのが
ベスト

まとめ

他人が描く“いきいき”はいらない!内省的ならいい
解像度をあげて、小さな幸せを感じる。日々の循環のほうが大切

“いきいき”は目的でない
結果として“いきいき”
できたら良い感じ